

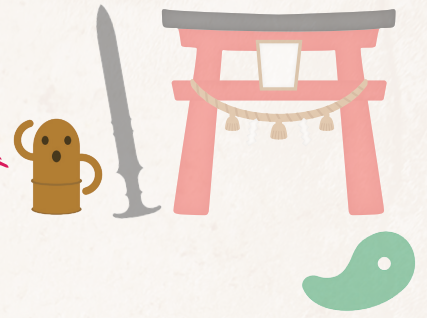
郷土を知る
むかしむかし

昔々の

開 ぞお市

第42回

岩川の 弥五郎どん(その2)



生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

現

在、毎年11月3～5日にかけて開催される岩川八幡神社の弥五郎どん祭りですが、いつから始まったのでしょうか。

実はよく分からないのが本当のところですが、少なくとも江戸時代中期には「大人弥五郎殿」と称し、祭りが行われていたことは確かです。また、この当時は10月5日開催で、神社は現在の元八幡（地図参照）にありました。

その後、大正3年（一九一四）に現在地（馬場）に移転、この頃には11月5日の開催となっています。

戦後、弥五郎どん祭りは、神社周辺の青年団から、岩川町商工会へと主催が移っていき、祭りの規模も巨大化していきます。浜下りも旧岩川小学校周辺までだったものが、岩川の町（旧駅周辺）まで繰り出すようになり、弥五郎どんが町に一泊する時代（5日～6日）もありました。また、6日には武道大会・演芸大会などが行われ、駅周辺から神社までの区間も大層賑わっていました。

昭和40年後半、商工会は祭りのさらなる集客を期待して、11月3

日祝日（文化の日）への変更案を叫ぶようになります。この案に対して、神社と商工会が対立。神社としては、例祭（豊祭）は一番重要な神事であり、絶対に動かす訳にはいかないという事情もありました。そのような状況のなか、町観光協会長が調停に入り、3日に浜下り、4日は武道大会など、5日は例祭という折衷案を提示、両者これを受け入れるという形で決着しました。

そして昭和48年から3～5日の開催で、現在に至っています。



上 神社移転前は、ここが浜下りの御旅所でした



右 昭和31年頃の浜下り
当時は階段の段差解消のためシラスをまいていました



岩川の弥五郎どん調査報告書が 刊行されました

令和元年度から国の補助を受けて調査事業を実施していましたが、今年3月、調査報告書を刊行しました。現在、市ホームページでダウンロードできます。調査で新たに分かったことも多々掲載していますので、11月の祭り本番の前にぜひ読んでみてください。図書館でも読むことができます。

